

信用保証依頼書の記入項目説明

金融機関から信用保証協会に信用保証を依頼する書類です。

- ① 日付は必ずご記入ください。
- ② 代理貸の場合は金融機関名をご記入ください。
- ③ 当協会の顧客番号をご記入ください。新規のお客様等顧客番号が不明の場合はご記入を省略しても構いません。
- ④ 保証制度は、協会商品や地公体制度等併用する制度がある場合、それぞれ具体的に ご記入ください。
- ⑤ 貸付金額の一部を保証する割合保証制度など金融機関が一部責任を負うような責任共有の対象とならない制度であることを想定して申込される場合は1に○をご記入ください。
なお、責任共有対象制度のうち、負担金方式を選択している金融機関も従来からの部分保証制度(社債・ABL等)の申込をされる場合は①に○をご記入ください。
- ⑥ 貸付実行時の貸付予定利率をご記入ください。
- ⑦ 返済区分を選択し、2及び4を選択した場合は下段の返済条件をご記入ください。
- ⑧ 期間保証(保証期間を月数で定めたもの)の場合にご記入ください。
例)6か月の据置、返済額の端数調整が最終回の場合
7か月目から 59か月まで1か月毎に毎月185,000円、最終回195,000円
- ⑨ 確定日保証(保証期日を定めたもの)の場合にご記入ください。
- ⑩ 不均等返済の場合は、返済条件を具体的に ご記入ください。
- ⑪ 本件貸付で既存の保証付貸付を完済される場合は、保証番号をご記入ください。
- ⑫ 本申込にて既存保証付借入の借換を行う場合、自行(金庫)の預金口座(口座の種類・店番号・口座番号・口座名義[カナ])を必ず記入してください。
- ⑬ 設定区分が金融機関の不動産担保の場合、次の通りご記入ください。また、設定区分が金融機関の場合で、新規設定、変更の際は金融機関所定の「担保台帳」等の写しを添付してください。

[新規の場合]	根拠当権50,000千円のうち30,000千円引当(協会劣後)
[既存(同条件)の場合]	根拠当権50,000千円のうち30,000千円引当(協会劣後) (保証番号12-34-567890と同一担保条件)
[既存(変更)の場合]	根拠当権50,000千円の極度額を100,000千円に増額の上、内40,000千円引当(協会劣後) (優先順位) ① 貴行 30,000千円 ② 協会 30,000千円(既流用保証番号 12-34-567890) ③ 協会 40,000千円(本件)

※極度額、流用額、優先順位、担保物件など変更の内容を具体的に ご記入ください。
- ⑭ 申込金融機関の信用保証依頼日時点における取引状況をご記入ください。
- ⑮ 申込金融機関の銀行取引開始(預金・融資)年月は必ずご記入ください。
- ⑯ 融資区分「ブローパー」は、保証協会付以外の金額をご記入ください。保全状況の「不動産」は取引極度をご記入ください。
極度設定の貸付の場合は、実際の利用がなくなとも、極度額をご記入ください。
- ⑰ お申込人の定性評価をご記入ください。なお、今期中の焦付があった場合、その相手先と金額をご記入ください。
- ⑱ 最近の業績、返済能力、経営者の人物、取組方針等についての所見を具体的に ご記入ください。
- ⑲ 申込書の内容を申込人が理解し、申込意思に基づいて正しく記載されていることについて、確認状況をご記入ください。

※極度額、流用額、優先順位、担保物件など変更の内容を具体的にご記入ください。

- ⑭ 申込金融機関の信用保証依頼日時点における取引状況をご記入ください。
- ⑮ 申込金融機関の銀行取引(開始(預金・融資)年月)は必ずご記入ください。
- ⑯ 融資区分「プロパー」は、保証協会付以外の金額をご記入ください。保全状況の「不動産」は取引極度をご記入ください。極度設定の貸付の場合は、実際の利用がなくても、極度額をご記入ください。
- ⑰ お申込人の定性評価をご記入ください。なお、今期中の焦付があった場合、その相手先と金額をご記入ください。
- ⑱ 最近の業績、返済能力、経営者の人物、取組方針等についての所見を具体的にご記入ください。
- ㉑ 「申込書の内容を申込人が理解し、申込意思に基づいて正しく記載されていること」について、確認状況をご記入ください。

(様式SH03)

信用保証依頼書

愛媛県信用保証協会 行

令和 7 年 6 月 13 日

本申込について、審査の結果、貸付を適当と認めますので、保証制度要綱および同事務取扱要領を遵守のうえ信用保証を依頼します。

金融機関名・支店名		金 融 機 関 コ ー ド		9 9 9 9 9 9 9 9 9 代理店 ②	
松山市一番町1丁目20番地		電 話 番 号		(089) 931 - 2114	
代表者名		F A X 番 号		(089) 931 - 2107	
株式会社松山銀行一番町支店 支店長 松山 肇		担当部署・担当者		遠 藤	
		不在時連絡者		二 神	
協会顧客番号 ⑤ 12345678		事前相談受付番号			
申 込 人		フリガナ カバシキガイシャ ホショウケンセツ		保証制度(略称) ④ 県経営安定一般スムース8000	
株式会社 保証建設		責任共有 ⑤ 無		対 象 ② 有 [① 部分保証 ② 食担保]	
貸	貸付金額 ① ① 倍別 ② ② 極度	1 0 0 0 0 0 0 0 円		貸付予定日	年 月 日
	資金使途	1 運転 ② 設備 ③ 運転・設備		期間または期日	60 か月、または 年 月 日
付	貸付形式 ① 証書 ② 手形 ③ 手形割引 ④ 公正証書	5 当貸(貸付専用型) 6 当貸(カードローン型) ⑦ 電子記録簿権利引		貸付利率 ① ① 固定 ② 変動 ③ ③ 6 年 ④ 2 . 15 % 以内	
	区分 ① 一括 ② 元金均等 ③ 元利均等(ローン)	④ 4 不均等 ⑤ 当貸随時 ⑥ 当貸約定 ⑦ 商手落込			
返済方法	返済条件 ⑥ ① 1 か月目から ② 59 か月目まで ③ 1 か月毎 ④ 166,000 円	⑤ 1 か月目まで ⑥ 1 か月毎 ⑦ 円		初回 ⑧ 最終回 ⑨ 206,000 円	
	⑩ 年 月 日から 月 日 まで ⑪ 円あて ⑫ 円返済 ⑬ 初回・最終回 ⑭ 円				
件	この貸付で完済する保証がある場合など	保証番号 ① ①		保証料返戻預金口座 種類 ① 普通 ② 当座	
		割引残高有無 ① 無 ② 有 ※割引根保証を更新する場合は、ご記入ください。		□ 座 番 号 □ 座名義(カナ)	
内	連帯保証人	保証人等明細に記入のとおりとします。			
	担保有無	① 無 ② 有 担保種類 ① 不動産 ② 有価証券 ③ 商手 ④ 売債 ⑤ その他()			
容	設定区分	① 協会 ② 金融機関 担保流用区分 ① 新規 ② 既存(同条件) ③ 既存(変更)			
	備考(担保明細等)	※新規設定の場合は、必ず「不動産登記簿謄本」等の資料を添付してください。既存(変更)の場合は、以下に内容等をご記入願います。また、担保番号や保証番号が分る場合にはご記入願います。			
等	⑬ 当行設定(根) 30,000千円のうち12,000千円を本件の引当とする。協会優先。				

令和7年 6月 13日現在の残高 ¹⁵⁾ (取引開始 預金 平成22年 4月/融資 平成22年 4月)										
当店取引状況	当店 預金	当座	3,250 千円	区分 融資	16 プロパー	保証協会付		保全状況		取引振り ①優 良
		普通	0 千円		貸付	31,500 千円	10,000 千円	不動産	27,500 千円	
		定期性	5,000 千円		割引	0 千円	0 千円	預金	0 千円	
		その他	500 千円		その他	4,500 千円	0 千円	その他	0 千円	
		合 計	8,750 千円		合 計	36,000 千円	10,000 千円	合 計	27,500 千円	
4 新規										

申	由人(代表者)の事業経験 養育経験 ① 十分ある ② 普通 ③ やや不足している	18 金融 機関 間 所 見	※最悪の業況、返済能力、経営者の人物、取組方針等 令和5年3月期より景気低迷及び受注先の倒産により、売上、収益とも減少し、2期連続赤字計上したが、令和7年3月期は抜本的な経営効率化により黒字転換している。 本日は、パーورشョル老朽化に伴う買い替え資金の申込である。 返済原資については、別紙設備計画書のとおり懸念ないと思われ、支援したい。
込	事業の採算性 ① 有利 ② やや有利 ③ 構想以上 ④ 下降・後退		
込	由人(代表者)の計数知識(決算、業種知識等) ① 十分に有 ② 普通 ③ やや不足している		
立	地条件(商業、サービス業)、取引先状況(製造業ほか) ① 良好 ② 普通 ③ 不良		
況	今期中の借付(相手先) ① 発生していない ② 発生した(千円)		

【確認状況記載欄】「申込書の内容を申込人が理解し、申込意思に基づいて正しく記載されていること」について、次の通り確認しております。

確認年月日	確認時間	確認方法	金融機関確認者
令和7年6月13日	15時00分	1 電話 2 来店面談 3 訪問面談 4 その他()	松山